

令和2年度（2020年度） 学習の手引き（シラバス）

長野県岡谷工業高等学校

教科	公民	科目	現代社会	単位数	2	学年	3	科	全学科
----	----	----	------	-----	---	----	---	---	-----

1、科目の目標

現代社会の諸問題について考察し、それらに関する基礎的知識を学ぶなかで、国内外の社会にどう関わるべきか、また、社会をより良いものにするためにはどのように考え、行動すればよいか主体的に考える態度を養う。

2、使用教科書・副教材

教科書：最新現代社会 新訂版（実教出版） 新詳高等地図（帝国書院）
副教材：新編テーマ別資料 現代社会 2020（とうほう）

3、学習の計画

		学習の内容	考查範囲	予定時数
一学期	5月	第2部 現代の社会と人間（1 青年期と自己形成） 第1章 自分らしく生きる	期末考查	10
	6月	第2部 現代の社会と人間（3 現代の経済社会と国民生活） 第1章 現代の経済社会		
	7月	経済体制の変容 / 市場のしくみ		
二学期	7月	第2部 現代の社会と人間（3 現代の経済社会と国民生活）	中間考查	28
	8月	第1章 現代の経済社会		
	9月	（経済体制の変容 / 市場のしくみ） / 市場の失敗 現代の企業 / 国民所得 / 経済成長と国民の福祉		
	10月	財政の役割と租税 / 日本の財政の課題	期末考查	
11月	第2章 日本経済の特質と国民生活 労働問題と労働者の権利 / こんにちの労働問題			
三学期	12月	第2部 現代の社会と人間（2 現代の民主政治と日本国憲法）	学年末考查	22
	1月	第2章 日本国憲法の基本的性格 日本国憲法の成立 / 自由に生きる権利 / 平等に生きる権利		
	2月	平和主義とわが国の安全 / こんにちの防衛問題		
	3月	他		

4、評価の方法

主体的な言語活動	<ul style="list-style-type: none"> 生徒への発問解答など対話形式を大切に授業を進める 授業内容の説明や発問はできるだけわかりやすく的確な言葉で行い、生徒にも同様の視点に立って解答をするように指導する 時事問題を扱い、ニュース・新聞記事に関する発問をし、社会的関心を高めるように努める
関心・意欲・態度	出席、ノートテイク、発言など様々な角度から積極性を観る
思考・判断・表現	発問に対する解答や、それに至る思考過程および反応を観る
観察・実験の技能	資料集や新聞記事、視聴覚教材を扱い、現在の社会の動きを説明し、学習に取り組みせる
知識・理解	履修事項の嵩上げがなされているか確認する（考查、発問に対する解答、課題提出等で判断）

5、学習にあたっての注意とアドバイス

- 板書事項や口頭説明等、ポイントを各自工夫してノートテイクする
- 欠課遅刻をなくし、授業を大切にする
- 学期ごとに成績不振者に対する指導を行う